

健康投資効果指標

＜健康投資施策の取組状況に関する指標＞

健康投資施策の取組状況に関する指標	概要/指標の算出方法	今年度の数値	昨年度の数値	2年度前の数値	3年度前の数値	4年度前の数値	目標値	今年度と昨年度の数値の差分	今年度の数値と目標値の差分	対応する戦略マップで記載している健康投資	対応する健康投資の投資額
残業時間の削減	年間所定外労働時間	108	108	96			100	12	0	営業活動支援システムの運用 (i-crop-j)	
定期健康診断受診100%	定期健康診断受診率	100%	99.9%	100%	100%	100%	100%	0.1	0	定期健診実施	
再検査受診率の向上	再検査受診率	38.8%	32.4%	—	12.2%	34.5%	50%	6.4	-11.2%	定期健診実施	
有給取得率の向上	有給取得率	37.7%	37.7%	26.0%	17.3%	12.8%	40.0%	0.0%	-2.3%	営業活動支援システムの運用 (i-crop-j)	
アプリ参加率の向上	アプリ参加率	33.3%	33.3%				90.0%	0.0%	-56.7%	健康アプリの運用	
喫煙環境、喫煙機会の減少	就業時間内禁煙による喫煙時間(分)	60	60	505			60	-445		受動喫煙対策の実施	
ハラスメント研修の参加数	参加対象に対する参加率	100.0%	100.0%				100.0%	100.0%		ハラスメント研修	
メンタルヘルス研修参加数	参加対象に対する参加率	100.0%	100.0%				100.0%	100.0%		メンタルヘルス研修	

＜従業員等の意識変容・行動変容に関する指標＞

従業員等の意識変容・行動変容に関する指標	概要/指標の算出方法	今年度の数値	昨年度の数値	2年度前の数値	3年度前の数値	4年度前の数値	目標値	今年度と昨年度の数値の差分	今年度の数値と目標値の差分
仕事の熱意や活力の向上	健康意識度調査 アンケート結果	57.1%	60.0%	55.7%			70%	4%	-10.0%
健全な食生活を送る従業員の割合	健康意識度調査 アンケート結果	57.3%	58.5%	57.1%			60.0	0.0	-59.4
飲酒習慣のある従業員の割合	健康意識度調査 アンケート結果	32.7%	33.5%				30.0	0.3	-29.7
運動習慣のある従業員の割合	健康意識度調査 アンケート結果	29.8%	25.7%	23.9%			17%	2%	8.7%
喫煙者比率	健康診断時の問診	37.8%	38.0%	39.2%			28%	-1%	10%

＜健康関連の最終的な目標指標＞

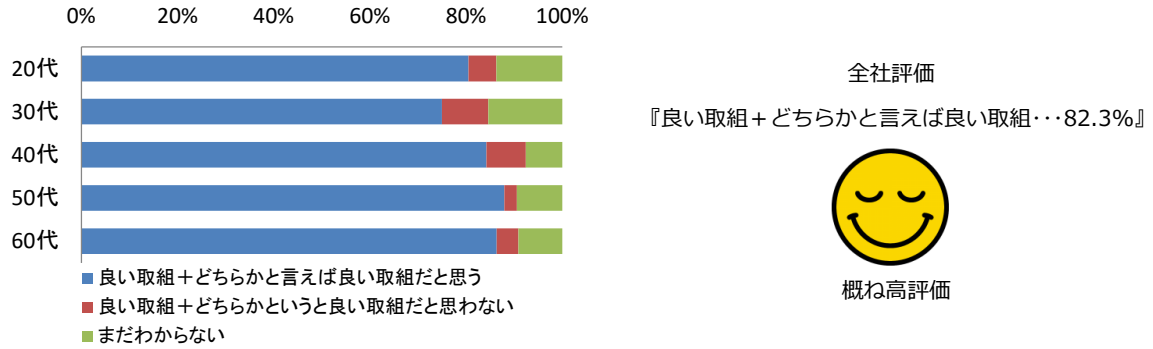
健康関連の最終的な目標指標	概要/指標の算出方法	数値的な健康関連の最終的な目標指標の場合							定性的な健康関連の最終的な目標指標の場合		各健康関連の最終的な目標指標に係る健康投資額
		今年度の数値	昨年度の数値	2年度前の数値	3年度前の数値	4年度前の数値	目標値	今年度と昨年度の数値の差分	今年度の数値と目標値の差分	今年度の健康関連の最終的な目標指標	
アブゼンティーイズム	傷病欠勤制度および傷病休職制度利用日数の全従業員平均	0.42日	0.13日				150	-128	2		
プレゼンティーイズム	パフォーマンススコア(健康意識度調査)不定愁訴16項目平均	50.6%	50.9%	51.0%			45%	0%	6%		
ワーク・エンゲイジメント(仕事への熱意や活力)	パフォーマンススコア(健康意識度調査)	57.1%	60.0%	55.7%			70%	4%	-10%		
仕事満足度	パフォーマンススコア(健康意識度調査)	77.0%	78.9%	77.3%			80%	2%	-1%		
接客対応の安心度	NPS(お客様からの推奨度:新車購入3年後)	44.7	42.6	44.7			48	-1.9	-5.4		

個人パフォーマンスの向上、不健康や疾病による生産性低下の防止を健康経営で解決したい経営課題と捉え、健康アプリを導入、運用し、食事、睡眠、体調等のセルフ管理できるしくみや、アプリ運用と連動したウォーキングイベント、卒煙イベント等の健康施策に取り組みました。現時点では設定している目標クリアといった効果には至っていませんが、継続して取り組んでまいります。

第4回 健康意識度調査結果報告

調査実施期間:2021.7.17~7.31 回答者数:815人

1. 会社が健康経営に取り組んでいるイメージについて



2. パフォーマンススコアについて

年代	スコア
20代	74.6
30代	75.5
40代	77.3
50代	79.6
60代	81.5
全体	77.0

パフォーマンススコアとは・・・
体調不良や病気、ケガが無いときに発揮できる仕事の出来を100%として、過去4週間の自身の仕事のパフォーマンスを評価したスコア

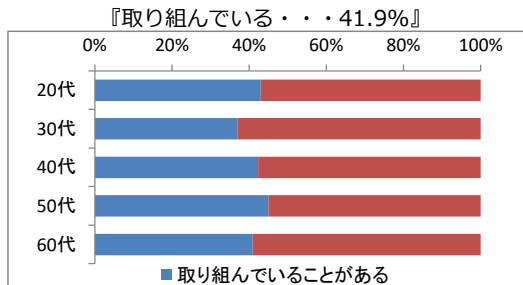


例) 体の不調による損失 (パフォーマンススコア) が1%改善した場合

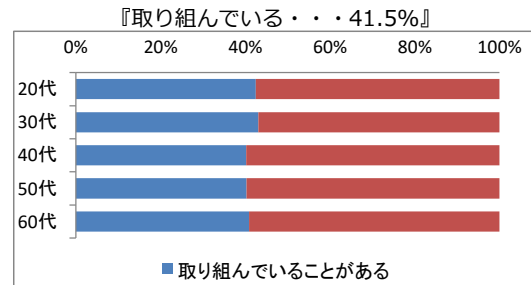
従業員数 1,000人 × 人件費 500万 × 1%改善 = 年間5,000万円 生産性向上 (あくまで目安となります)

3. パフォーマンススコアを高めるには、「身体」と「こころ」の健康が第一

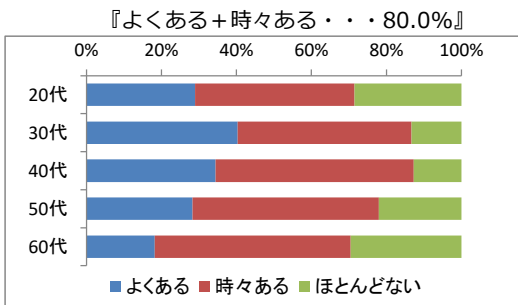
①-1 自分のからだや健康のために運動面(からだを動かすこと)で現在何か意識して取り組んでいることはありますか。



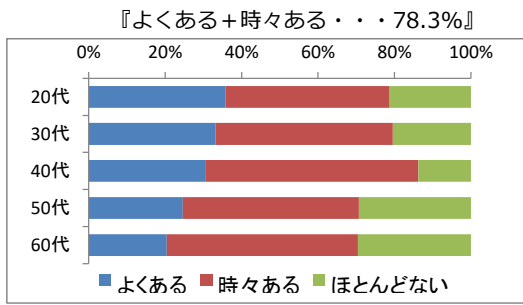
①-2 普段の食生活の中で、自分のからだや健康のために現在何か意識して取り組んでいることはありますか。



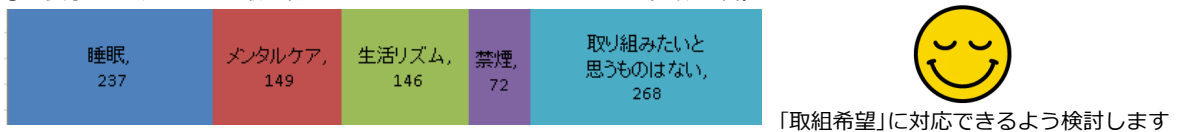
②-1 イライラすることがありますか



②-2 いつも疲れている、だるい



③ 食事・運動のほか、取り組みたいと思うものはありますか。(複数回答)



【総括】 会社が成長するためには、社員が健康で生き活きと働き、高いパフォーマンスを発揮することが大切です。「健康経営」の取り組みを通じて、アブセンティーズム(疾病や心身の不良による欠勤)による突発的あるいは長期的な労働力の不足、プレゼンティーズム(心身が健康な状態ではないものの会社に出勤)による生産性低下を防止していきます。

各項目、指標の前年差は、大きな改善とまでは至っておりませんが、今後も健康イベント開催や、「睡眠」「メンタルケア」等の講座・研修等に取り組みます。

